

# 赤れんが通信



第 63号

令和 2年 2月 26日

編集発行人 国際交流員 金昭賢

今回の冬は異例に降雪量が少ない「暖冬」と言われます。しかし、私はこんなに雪がたくさん降る光景を見たのが初めてだったので驚きました。1月中旬に入ってから家への帰り道も少しずつ明るくなり、立春も過ぎたので、長かった冬も残りわずかのような気がします。道路には雪がまだあちこちで山のように積もっていても、ロングダウンコートが少し暑く感じられる日があるので「節気は騙せない」という昔の言葉が北海道でも通用するようで不思議です。

## 済州民謡公演（済州DAY）

### 済州の歌声、札幌に鳴り響く

北海道は2016年1月、済州特別自治道と友好協力協定を締結し、様々な交流イベントを続けてきております。62号では、済州で開催された「済州国際青少年フォーラム」及び「済州映画祭」を通し、民間レベルでの交流が成功裏に行われたことをご紹介しましたが、今回は北海道札幌市でも済州特別自治道に関わる特別な行事が行われました。

去年の12月17日、渡辺淳一文学館ホールでは韓国重要無形文化財95号に指定された「済州民謡」公演が行われました。済州民謡保存会公演団は、済州の美しい風景を歌った「瀛州十景歌」、海での安全を祈願した「ジドゥリムグツ」、男女の愛の歌である「オドルトギ」や「ヌヨンナヨン」をはじめ、済州ならではの特色が溢れる衣装や道具を利用した「海女さんの踊り」、「水がめ踊り」など、興味深いパフォーマンスを披露しました。当日、100人余りの観客は公演団の皆さんに盛んな喝采を送りました。

済州民謡公演に先立って、済州の魅力を探る「済州DAY」セミナーも行われ、キムソヒョン国際交流員が済州島の観光に欠かせない「地域の名所」や絶対食べるべき「地域の名物」などを紹介しました。



成功裏に開催された済州民謡公演

## 釜山 DAY 紹介展



12月12日から二日間、北海道庁1階の道政広報コーナーでは釜山広域市の美しい風景を紹介する展示が開かれました。今回の紹介展では、釜山広域市から発行されるニュースレター「ダイナミック釜山」や韓国観光パンフレットも配布しました。

## 北海道の2020年



2020年、北海道では様々なイベントが開催される予定であり、以下のような記念日を控えております。

1. ウポポイ(民族共生象徴空間)開館予定(4月24日)
2. 東京オリンピック一部種目競技開催予定(7月、8月)
3. ソウル特別市との交流10周年(10月15日)
4. 釜山広域市との交流15周年(12月14日)

## 活気あふれる日本の年末年始



韓国では「元日からお金を使うと良くない」とよく言われますが、日本では朝一から並々ならぬ覚悟で「タンジンジェム」の現場に飛び込む人たちがいます。数量限定で販売される福袋（ラッキーバッグ）を購入するために朝早くから列に並び、求める商品を手に入れるために忙しくお店を回る人々で、ショッピングモールとデパートは元日から活気に溢れていました。

それだけではなく、寒い中、初詣に行ってお祈りをしたり、おみくじの結果を読みながらわいわいすることも興味深かったです。楽しく、忙しく正月休みを過ごすことは韓国も日本も似ていると思いました。

（\*タンジンジェム：「蕩尽(タンジン)+楽しさ(ジェム)」の新語で、お金を使い果たす楽しさという意味）

## 札幌の冬のイベント

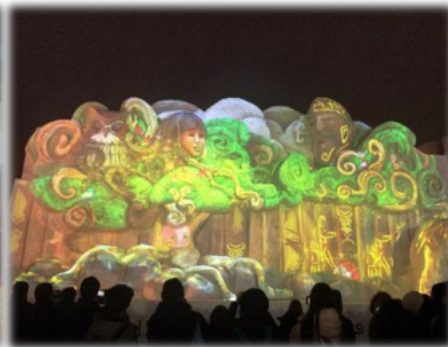
北海道の冬は寒くて、日が暮れる時間も韓国より1時間程度早いので、夜がやけに長く感じられますが、この季節は雪と夜景が調和をなす景色を見に多くの観光客が訪れる時期でもあります。夜が楽しくなる札幌の冬のイベントを紹介します。



ホワイトイルミネーション（大通会場）  
（2019.11.22～12.25）



ミュンヘンクリスマス市 in Sapporo  
（2019.11.22～12.25）



第71回 さっぽろ雪まつり  
（2020.1.31～2.11）

さっぽろ雪まつりは市内の大通公園及びすすきの駅の周辺などで開催されるイベントです。大通公園では雪像を、すすきのでは街のライトに照らされる氷像を見ることができます。今年は例年に比べて少ない積雪量や新型コロナウイルス感染症イシューにより、雪まつりの開催に対する懸念もありましたが、まつりの期間中、大通公園はたくさんの観光客で賑わいました。雪まつりが終わった翌日の朝は、巨大な雪像が既に撤去されていることをみて「もったいない」と思いました。

## 札幌市立東山小学校派遣

1月29日、国際課の国際交流員（韓・中・米）が札幌市立東山小学校を訪問し、各国のクリスマスやお正月休みをテーマとした文化講座を行いました。最後には、じゃんけんゲームを活用したレクリエーションをしながら楽しい時間を過ごしました。

昼休みには、学生たちと一緒に給食を食べたり、教室の掃除も手伝いながら充実した時間を送りました。



## ソウル特別市訪問

去年の12月19日、北海道庁国際局長及び国際課の職員らはソウル特別市を訪問しました。今年は交流10周年という大きな節目を迎えることになり、ソウル特別市庁企画調整室の実務者と今後の地域の国際交流の取り組みに関する懇談を行いました。



ソウル特別市庁を訪問した後は、日本自治体国際化協会ソウル事務所、北東北3県・北海道ソウル事務所を訪問し日韓自治体の交流現況や最近の韓国の情勢について貴重なお話を伺いました。

✓ 赤れんが通信  
バックナンバー  
韓国版はこちら



✓ 北海道観光  
振興機構は  
こちら



✓ 編集・発行 北海道 総合政策部 国際局 国際課  
北海道札幌市中央区北3条西6丁目  
TEL : +81-11-231-4111 FAX : +81-11-232-4303

